

証券コード6859

参考資料

サステナビリティの取り組み

**2024年2月20日
エスペック株式会社**

エスペックのサステナビリティについて

**当社は企業理念「THE ESPEC MIND」のもと
環境創造技術をかなめとした事業で社会や環境の
課題解決に貢献し、持続的な成長を目指しています。**

企業理念

創業当時から脈々と伝わるエスペックの大切な価値観 企業理念「THE ESPEC MIND」(抜粋)

起 点

社会の公器として、すべてのステークホルダーとより良い価値交換を目指す

使 命

環境創造技術でより確かな生環境を提供

スタイル

プログレッシブ(進取的な)、リライアブル、オープン、フェア

宣 言

社会に約束すること「遵法」「文化」「人権」「環境」「啓発」

サステナビリティ方針とマテリアリティ

持続的成長に向けて、サステナビリティ方針を策定し、「社会的価値」「経済的価値」を創出していくために取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を特定

サステナビリティ方針

- 企業理念「THE ESPEC MIND」の実践により、「社会的価値」と「経済的価値」の創出と向上を図ります
- ステークホルダーとのより良い価値交換により持続的成長を目指します
- ESPEC Vision 2025のもと、「環境創造技術」をかなめとした事業活動を通じて地球環境や社会課題の解決に貢献します
- サステナビリティに関する情報開示を積極的に行います

マテリアリティ

- | | |
|--------------|-----------------|
| ・事業構造の革新 | ・機能強化 |
| ・地球環境保全 | ・ガバナンス強化 |
| ・人材育成・職場の活性化 | ・ダイバーシティ推進・人権尊重 |

エスペックのSDGsへの貢献

エスペックは、先端技術分野をはじめ幅広い分野で、「環境創造技術」を核とした製品・サービスを提供し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

エスペック

提供する価値

- ・環境創造技術を核とした製品・サービスの提供
- ・環境保全サービスの提供
- ・地球温暖化や異常気象に対応した植物工場の提供

強み

- ・社会の発展に不可欠な事業領域
- ・世界トップブランドと独自技術による質の高い製品・サービス
- ・グローバルな生産・販売ネットワーク

お客様の製品・技術



- ・自動車(EV・自動運転)
 - ・電子部品(半導体)
 - ・IoT
 - ・AI
 - ・バッテリー
 - ・医薬品
 - ・食品
 - ・マテリアル
 - ・環境保全
 - ・アグリカルチャー
- など

社会

持続可能な社会の実現へ



- ・クルマの自動運転技術・予防安全技術の開発による安全・安心な社会の実現
- ・省エネ技術やEV技術の開発による環境・エネルギー問題解決への貢献
- ・IoT関連技術の開発による人手不足の解消、生産性の向上
- ・森づくりや水辺づくりなどの環境保全事業による生物多様性保全
- ・異常気象に対応した植物の作出研究支援や、植物工場による食の安定供給など

エスペックの事業とSDGs

装置事業



環境創造技術を駆使した製品・サービスの提供による先端技術の発展への貢献

・社会・環境課題の解決に向けた先端技術の開発に貢献する製品、サービスの提供

●環境試験器

温度や湿度などの環境因子を人工的に再現し、製品の信頼性を確保する環境試験器を提供

●エナジーデバイス装置

エコカーに搭載される二次電池や燃料電池の評価装置を提供

●半導体関連装置

半導体の検査用バーンイン装置や計測評価システムなどを提供

●医薬用機器

新型コロナワクチン用の保冷库や、医薬品・食品などの品質管理に使用される安定性試験装置などを提供



恒温恒湿器
プラチナスJシリーズ



自動車が入る
実車試験装置



半導体検査用
バーンインチャンバー



二次電池評価用
アドバンスバッテリーテスター

エスペックの事業とSDGs

サービス事業



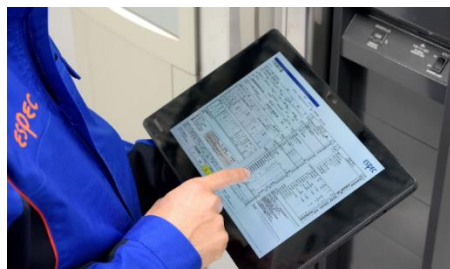
環境創造技術を駆使した製品・サービスの提供による先端技術の発展への貢献
・社会・環境課題の解決に向けた先端技術の開発に貢献する製品、サービスの提供

●アフターサービス・エンジニアリング

お客さまが安心して装置をお使いいただけるよう
製品のメンテナンスや予防保全を実施

●受託試験サービス

環境試験で培った技術と試験ノウハウで受託試験
サービスを提供



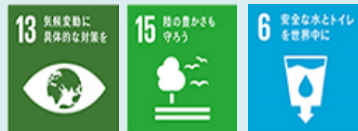
ITを活用したテクニカルサポート



国連規則など二次電池の各種安全性試験に対応
バッテリー安全認証センター

エスペックの事業とSDGs

環境保全事業



生物多様性保全への貢献

その土地の在来種による「森づくり」や自然の
河川を取り戻す「水辺づくり」など自然環境を
復元する事業
地球温暖化の防止や生物多様性保全に貢献

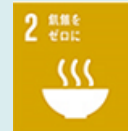


仙台市輪王寺参道の
復元された森



東京都 隅田川テラスにおける
水辺づくり

植物育成装置事業



地球温暖化や異常気象に対応した 食の安定供給への貢献

植物が育つ環境を人工的に再現し、異常気象
でも計画的に野菜を生産できる植物工場を提供
乾燥に強い植物の研究に使用する装置の提供
など、食の安定供給に貢献



海洋深層水を利用した植物工場
ミネラル豊富な野菜を生産・販売



乾燥地植物気候変動
応答実験設備
(鳥取大学 乾燥地研究センター)

サプライチェーンにおけるSDGsへの貢献

調達

- 環境面やコンプライアンスなどを
含めたサプライヤ評価の実施
- 事業継続マネジメントによる
不測の事態への対応
- 調達時の排出物の抑制

12 つくる責任
つかう責任

開発・設計

- 省エネ、低GWP冷媒の搭載、化学
物質の排出抑制、廃棄時の環境負荷
低減など環境に配慮した製品の開
発・設計

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう

3 すべての人に
健康と福祉を

6 安全な水とトイレ
を世界中に

11 住み続けられる
まちづくりを

12 つくる責任
つかう責任

生産・物流

- CO₂排出量の削減
- 化学物質の適正管理・排出抑制
- 取水量の削減・排水の適正管理
- 排出物の削減・リサイクル
- 環境に配慮した物流

3 すべての人に
健康と福祉を

6 安全な水とトイレ
を世界中に

11 住み続けられる
まちづくりを

12 つくる責任
つかう責任

製品・サービスの販売

- 社会・環境課題の解決に向けた先端技術の発展に貢献する製品・
サービスの提供
- 環境配慮型製品、サービスの提供
- 「森づくり」や「水辺づくり」などの環境保全事業の推進
- 植物育成装置事業の推進

9 産業と技術革新の
基盤をつくらう

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

3 すべての人に
健康と福祉を

6 安全な水とトイレ
を世界中に

13 気候変動に
具体的な対策を

15 陸の豊かさも
守ろう

2 飢餓を
ゼロに

廃棄

- 製品回収
- フロン回収
- リサイクル、リセール

11 住み続けられる
まちづくりを

12 つくる責任
つかう責任

サプライチェーンを支える基盤

- 顧客満足の向上と製品の品質・安全
- 人権の尊重
- 多様な人材の活躍推進
- 適切な情報開示・コミュニケーション
- 透明性のある公正な経営

3 すべての人に
健康と福祉を

4 質の高い教育を
みんなに

5 ジェンダー平等を
実現しよう

8 働きがいも
経済成長も

10 人や国の不平等
をなくそう

16 平和と公正を
すべての人に

環境・エネルギー問題の解決に貢献する製品・サービス

■ 二次電池や燃料電池、太陽電池、パワーデバイスの性能や耐久性を評価する製品群



二次電池用
充放電評価装置



燃料電池用
環境試験装置



太陽電池モジュール用
温度サイクル試験システム



パワーデバイス用
パワーサイクル試験装置

■ 世界初「バッテリー安全認証センター」

車載用バッテリーの国連規則に適合した安全性試験の
実施および認証機関への認証申請をサポート



バッテリー安全認証センター
(栃木県宇都宮市)

■ 再生可能エネルギー100%による受託試験サービス（国内）

環境目標・環境中期計画

2030年度 環境目標

温室効果ガス排出量(2019年度比)

SCOPE 1+2(自社排出) 60%削減、SCOPE 3(間接排出) 30%削減

2023年7月、国際的なSBTイニシアチブ※より「SBT (Science Based Targets)」認定を取得

※SBTイニシアチブ

パリ協定の目標達成に向け、企業に対して科学的な根拠に基づいた温室効果ガス排出量の削減目標の設定を推進している国際的なイニシアチブ。CDP、UNGC(国連グローバル・コンパクト)、WRI(世界資源研究所)、WWF(世界自然保護基金)が共同で運営。



第8次環境中期計画(2022年度～2025年度)

基本方針「グリーンテクノロジーを開発されているお客さまへの事業を通じた貢献」

地球温暖化対策および生物多様性保全を中心に取り組みを強化

<2025年度 目標>

- ・温室効果ガス排出量(2019年度比) SCOPE 1+2 55%削減、SCOPE 3 10%削減
- ・エスペックミック植樹本数50,000本・CO2固定貢献95t(累計)
- ・兵庫県三田市「エスペック50年の森」運営による生物多様性保全活動

生物多様性保全の取り組み①

生物多様性保全活動の拠点 神戸R&Dセンター 「エスペックバンビの里」が環境省「自然共生サイト」認定

社員が約3万本の在来種を植樹し育てた森や、六甲北部の在来種を用いた技術開発棟の屋上緑地、2つの池と小川からなるビオトープを設置
2023年10月、環境省「自然共生サイト」に認定



経産省「全国みどりの工場大賞」
2022年度「近畿経済産業局長賞」を受賞



2022年度 いきもの共生事業推進協議会
「いきもの共生事業所 (ABINC) 認証」を取得

生物多様性保全の取り組み②

兵庫県立大学と「SDGs推進」に関する協定を締結

- ・2022年8月、兵庫県立大学とSDGs推進を目的とした協定を締結
- ・生物多様性保全、教育・人材育成、環境・エネルギーなどの分野において両者が持つ知見や技術を活かして連携



締結式
兵庫県立大学 学長 太田勲様(右)
エスペック 代表取締役会長 石田雅昭(左)

生物多様性保全活動 「エスペック50年の森」植樹祭

- ・兵庫県三田市にて林野庁「法人の森林」制度を活用した森づくり「エスペック50年の森」を開始
- ・2022年11月、第1回植樹祭を開催
炭素固定・生物多様性機能をふまえ苗を選定
社員など約200名が参加し約4,000本を植樹



第1回植樹祭
3.6haの土地に2年間で12,000本を植樹予定

ダイバーシティの推進

女性活躍推進の取り組み



厚生労働省より、
子育てサポート企業認定マーク「くるみん」、
女性活躍推進法に基づく認定マーク
「えるぼし」の最高位などを取得



女性リーダー育成研修会

障がい者就労農園 「エスペックスマイルファーム」

- ・ 2021年11月、障がい者雇用支援会社が運営する貸農園内に障がい者就労農園を開設
- ・ 障がいのある方3名と管理業務を行う1名の計4名を採用
- ・ 栽培した野菜は、地域の子ども食堂への寄付や社員への配布などに活用



社員一同で野菜を収穫

社員教育・寄付制度

社員教育制度の充実

- ・ 企業理念の共有を目的とした研修会の実施
- ・ 国際的に活躍できる人材育成を目的としたグローバルトレーニープログラムの実施
- ・ 経営幹部育成および自己啓発を支援する教育プログラムの拡充



グローバルトレーニープログラム
現地研修(アメリカ)

従業員参加型の寄付制度 「エスペックスマイルクラブ」

- ・ SDGs推進活動の一環として、従業員の寄付金に会社が寄付金を上乗せするマッチングギフト制度
- ・ 子供と医療関係の社会貢献活動を行う団体に寄付
- ・ 2023年4月、トルコ・シリア地震 被災地支援としてセーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、国境なき医師団 日本に総額860,600 円を寄付



社会貢献活動

エスペック地球環境研究・技術基金

- 地球環境保全に関する研究・技術開発
に対して毎年資金援助を実施
- 設立から25年
計273団体に総額1億3,840万円を助成
- 2022年9月、設立25周年記念式典を開催



2022年度授与式・設立25周年記念式典

宮城県岩沼市「千年希望の丘」植樹祭

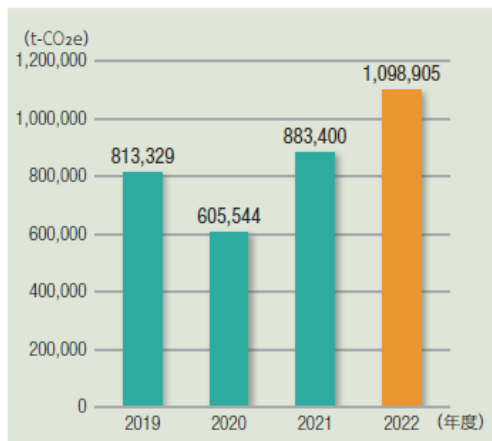
- 2013年にスタートした震災復興プロジェクト
- 岩沼市の沿岸部10kmにわたる植樹による
「森の防潮堤」 植樹本数は累計35万本
- グループ会社であるエスペックミックが支援
- ファイナル植樹祭が2021年6月（前編）、
2022年5月（後編）に開催された



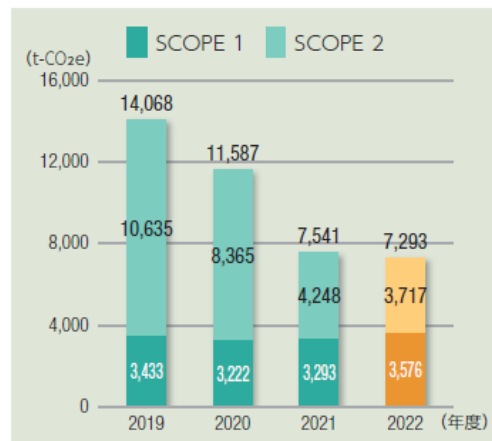
植樹祭

非財務データ①

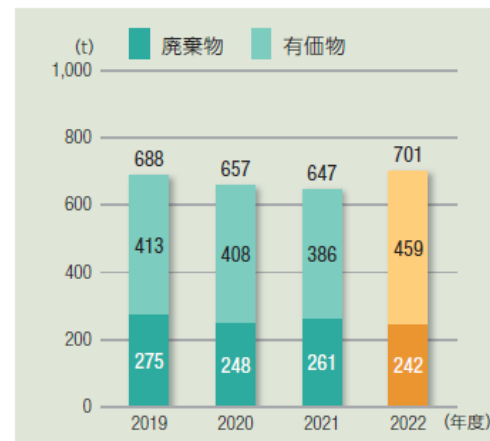
温室効果ガス排出量
SCOPE 1+2+3合計(連結)



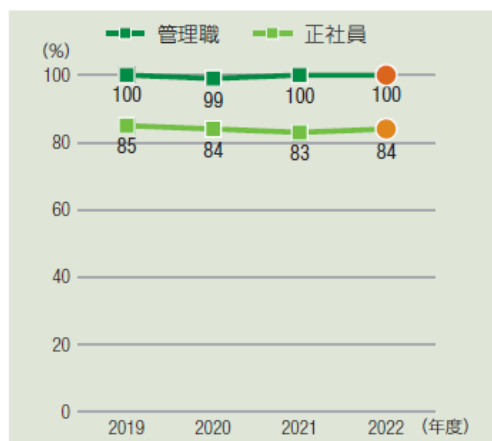
温室効果ガス排出量
SCOPE 1+2 (自社排出)(連結)



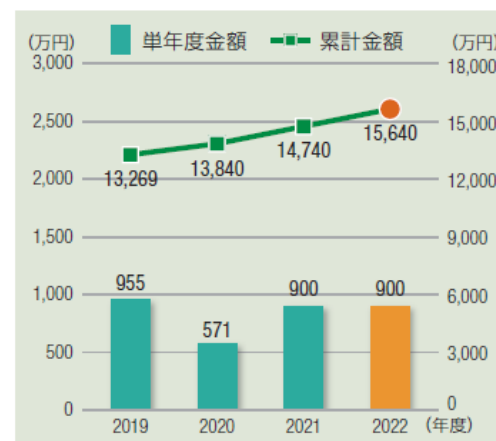
排出物総量(単体)



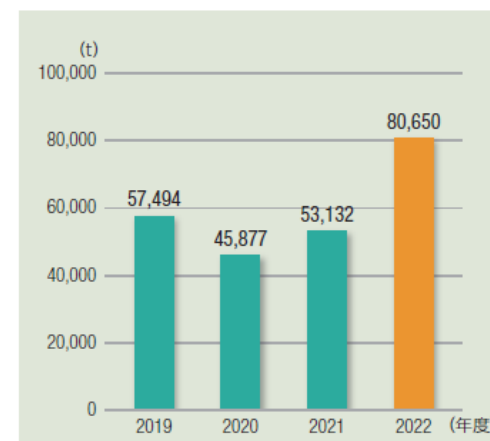
環境社会検定試験 (eco検定)
資格取得率(単体)



エスペック地球環境研究・
技術基金による助成



環境保全事業による植樹本数

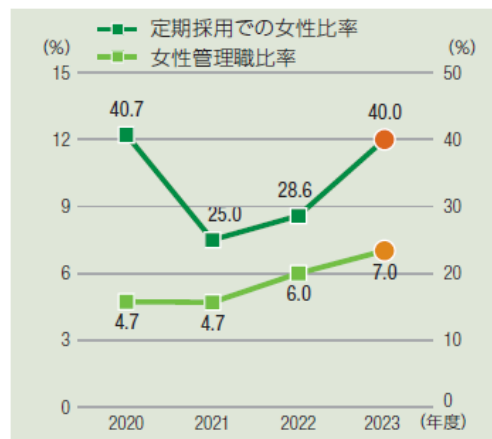


※エスペックミック株式会社 実績

非財務データ②

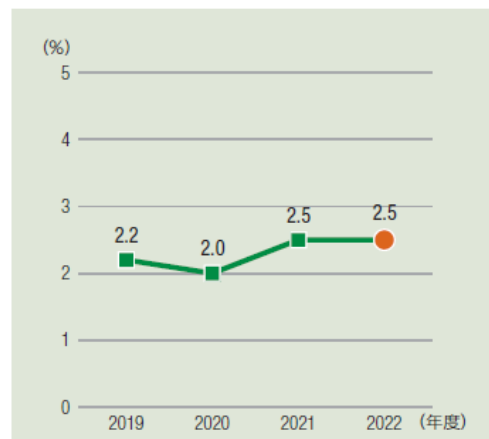
女性管理職比率

定期採用での女性比率(単体)



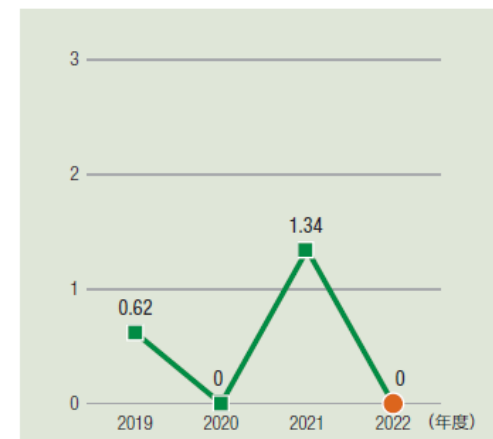
※各年度期初時点

障がい者雇用率(単体)



※各年度末時点

労働災害度数率※(単体)



※休業災害被災者数/延べ労働時間数×100万時間

非財務データ③

(年度)		2019	2020	2021	2022
従業員数※ ¹ (連結)		1,512名	1,526名	1,628名	1,691名
従業員数※ ¹ (単体)	男性	673名	658名	643名	636名
	女性	113名	122名	127名	142名
	合計	786名	780名	770名	778名
平均勤続年数(単体)		17.4年	19.2年	19.1年	17.2年
平均年齢(単体)		41.2才	43.1才	43.0才	41.2才
離職率※ ² (単体)		2.4%	2.3%	1.6%	1.4%
平均残業時間(単体)		21.2時間	11.0時間	15.5時間	22.6時間
年次有給休暇取得率(単体)		73.4%	65.8%	69.1%	75.1%
育児休業取得率(単体)	男性	7.0%	12.5%	30.8%	13.3%
	女性	対象者なし	100%	100%	100%
労働災害件数(不休災害を除く)(単体)		1件	0件	2件	0件
健康診断受診率(単体)		100%	100%	100%	100%
取締役会※ ³ (単体)	独立社外比率※ ⁴	25%	25%	25%	40%
	女性比率※ ⁴	0%	0%	0%	20%

※1 各年度末時点

※2 定年退職者を除く

※3 2022年6月、監査役会設置会社から監査等委員会設置会社に移行

※4 各年度6月末時点

社外からの評価

■2024年

- 2月・CDP 気候変動分野の調査で4年連続「Bスコア」、水セキュリティは「C-スコア」
- ・東洋経済新報社「2024年版CSR企業ランキング」375位



■2023年

- 12月・「Gomez IRサイトランキング2023」銅賞（業種別27位）
 - ・「大和インターネット IR表彰2023」優良賞
 - ・「2023年度全上場企業ホームページ充実度ランキング」最優秀サイト
- 11月・日本経済新聞社「第5回日経SDGs経営調査」3.5つ星
 - ・日本経済新聞社「第7回日経スマートワーク経営調査」3つ星
- 10月・日刊工業新聞社（経産省後援）「第19回企業力ランキング」157位
- 8月・「Gomez ESGサイトランキング2023」優秀企業に選定
- 6月・英フィナンシャル・タイムズ、独調査会社スタティスタ
「アジア太平洋地域気候変動リーダー企業」に初選定
- 3月・CDP「サプライヤーエンゲージメント評価」
最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に初選定



■ESG指数組入れ

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index（2022年4月初選定）



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



【お問い合わせ先】

エスペック株式会社

〒530-8550 大阪市北区天神橋3-5-6

TEL 06-6358-4744 FAX 06-6358-4795

e-mail ir-div@espec.jp

サステナビリティ推進部 部長 中川
IR・広報グループ 大川・貝川